

お知らせ

2026 年度各賞候補者の募集

本会では 2026 年度の下記各賞の候補者を募集しております。下記事項ご参照の上、候補者を奮ってご推薦下さいますようお願いいたします。

1. 賞名, 授賞対象, 授賞件数

賞名	授賞対象	授賞件数
日本化学会賞	<p>本会会員であって、化学の基礎または応用に関する貴重な研究をなし、その業績が特に優秀な者。すでに他の賞を受賞した者も授賞対象とする。なお、学術賞の受賞者で、学術賞受賞後さらに顕著な業績をあげた場合には、その部分について学会賞の授賞対象とする。</p> <p>授賞対象となる分野で本会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.) に以下のいずれかの発表実績のある者に授与する。</p> <p>i) Accounts または Review を 1 報以上発表している者</p> <p>ii) 主要な原著論文を 1 報以上発表している者</p>	6 件以内
学術賞	<p>本会会員であって、化学の基礎または応用のそれぞれの分野 (①物理化学系 (物理化学・工業物理化学), ②無機・分析化学系 (無機・分析化学, 無機工業・工業分析化学), ③有機化学系 (有機化学・有機工業化学), ④材料化学・高分子化学系, ⑤天然物化学・生体関連化学系 (含医農薬), ⑥複合領域 (含情報・計算機化学, 地球化学, 環境化学, 資源・エネルギー) において先導的・開拓的な研究業績をあげた者で、授賞対象となる分野で本会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.) に以下のいずれかの発表実績がある者、もしくは The Chemical Record に 1 報以上発表している者に授与する。</p> <p>i) Accounts または Review を 1 報以上発表している者</p> <p>ii) 主要な原著論文を 1 報以上発表している者</p> <p>学会賞を除く他の賞を受賞した者も授賞対象とするが進歩賞の受賞者で、その受賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象としない。</p>	12 件以内
進歩賞	<p>本会会員であって、化学の基礎または応用に関する優秀な研究業績をあげ、授賞対象となる分野に強く関連する論文を、本会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.) に 1 報以上発表し、年齢が受賞の年 (2027 年) の 4 月 1 日現在において満 37 歳に達していない者。</p>	10 件以内
女性化学者奨励賞	<p>化学の専門性を活かした学術研究に傑出した業績と貢献がある者で、社会貢献にも努め、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与し、将来の科学者・技術者を目指す学生や若手研究者の目標となる本会女性の会員を対象とし、年齢が受賞の年 (2027 年) の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。なお、すでに他の賞を受賞した者も授賞対象とする。</p>	2 件以内
化学技術賞	<p>本会会員に限らず、我が国の化学工業の技術に関して特に顕著な業績のあった者。個人を対象とするが、同一業績について 5 名以内の連名で受賞することができる。また、同一人が異なった業績で重ねて受賞することができる。</p>	5 件以内
技術進歩賞	<p>受賞時に本会会員であって、工業化の可能性のある独創的な化学技術を開発し、年齢が受賞の年 (2027 年) の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。グループによる共同研究の場合、3 名以内の連名での受賞が可能。ただし年齢は全員が受賞の年の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。</p>	3 件以内
化学教育賞	<p>原則として本会会員であって、国際的または全国的視野において化学教育上、特に顕著な業績または功績のあった者。</p>	3 件以内
化学教育有功賞	<p>本会会員に限らず、化学教育に従事し、その組織または地域において教育上顕著な業績または功績のあった者、もしくは独創的な着想に基づく教育や評価方法の考案によって教育上顕著な貢献のあった者。</p>	5 件以内

化学技術 有功賞	本会会員に限らず、化学および化学技術に関連する研究支援の業務をもっぱらとする者で、装置・器具の開発・改良、特殊技能などにより、特に貢献のあった者。個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。	若干数
功 労 賞	本会会員であって、本会の事業・運営等の活動に対し、顕著な功績があると認められる者。	若干数

※本会会誌の正式名称：Bulletin of the Chemical Society of Japan, Chemistry Letters

長倉三郎賞について

受賞候補者の推薦を募らず、本賞の授賞年度における日本化学会賞を除くすべての本会各賞（上記）の受賞者を、長倉三郎賞の受賞候補者としてします。

授賞対象は、本会個人正会員または教育会員であって、特に独創性の優れた研究成果または業績をあげた者で、かつ高い将来性が期待できる者。

授賞件数は、毎年1名以内。ただし該当者なき場合はこの限りではない。

2. 推薦方法

候補者を推薦される方は、下記より所定の推薦用紙をダウンロードしてご記入の上、ご提出下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/activity/prize/requirements.html>

3. 推薦書提出先

(1) 日本化学会賞、学術賞、進歩賞、女性化学者奨励賞、化学教育賞、化学教育有功賞

候補者が所属する支部の事務局。提出締切日は各支部によって異なります。支部の締切（必着日）は下記のとおりです。詳しくは各支部事務局へお問合せ下さい。

北海道支部	7月10日(金)17時	※電子フォームで受付。詳細は北海道支部 HP をご覧下さい。
東北支部	7月3日(金)	
関東支部	7月10日(金)17時	※電子フォームで受付。詳細は関東支部 HP をご覧下さい。
東海支部	7月10日(金)17時	
近畿支部	7月17日(金)17時	※電子フォームで受付。詳細は近畿支部 HP をご覧下さい。
中国四国支部	7月10日(金)17時	
九州支部	7月10日(金)	※電子フォームで受付。詳細は九州支部 HP をご覧下さい。

注：候補者、推薦者ともに所属支部にご提出下さい。

- 北海道支部：北海道
- 東北支部：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東支部：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県
- 東海支部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県
- 近畿支部：富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国四国支部：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州支部：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 化学技術賞、技術進歩賞、化学技術有功賞

本会事務局総務部賞係。提出締切日は、8月31日(月)(必着)です。なお、本賞の推薦資格者は、本会役員、支部役員、前(元)会長、本会会誌編集委員長、法人正会員、化学関係学協会会長および化学工業関係工業会会長、各部長および各ディビジョン主査です。

(3) 功労賞

本会事務局総務部賞係。提出締切日は8月31日(月)(必着)です。なお、本賞の推薦資格者は、役員、各部門、各委員会、各支部、各分会および各ディビジョン等の長です。

【問合せ先】

推薦書提出に関する窓口：

日本化学会 各支部事務局 <https://www.chemistry.or.jp/societyguide/branch/index.html>

総合の窓口：日本化学会 総務部賞係 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

E-mail: award@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6161

2027 年度「代議員」立候補の受付について

会 員 各 位

公益社団法人 日本化学会
 北海道支部長 居城 邦治
 東北支部長 壹岐 伸彦
 関東支部長 稲木 信介
 東海支部長 宮本 啓一
 近畿支部長 山田 容子
 中国四国支部長 安倍 学
 九州支部長 速水 真也

公益社団法人日本化学会は、個人正会員および教育会員の中からおおむね 100 人の中から 1 人の割合で選出される代議員をもって、根拠法となる法律上の社員といたします。

社員（代議員）とは、社員総会の構成員として、役員を選任・解任、計算書類の承認など法人の組織、運営に関する基本的事項について議決権を行使する方です。

本会では、代議員を立候補により受け付けます。

立候補は、支部ごとに受け付けますので、立候補される方は、所属する支部へ届け出て下さい。

記

1. 2027 年度代議員の任期

2026 年 10 月 31 日(土)～2027 年 10 月 29 日(金)

2. 代議員になれる方

個人正会員および教育会員

3. 立候補期間

2026 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火) 正午 [支部事務局必着]

4. 立候補の届け出方法、および届け出先

次頁届出用紙をコピーしていただき、氏名、会員番号、会員種別、所属先、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを記載の上、郵便等で立候補者の所属する支部事務局宛にご送付下さい。

5. 各支部の範囲と事務局所在地

北海道支部（北海道）

060-0001 札幌市中央区北一条西 3-3 ばらと北一条ビル 10F-3S 公益社団法人日本化学会 北海道支部
 電話(080)2862-6084, E-mail: csjh@nifty.com

東北支部（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学理学部化学科内 公益社団法人日本化学会 東北支部
 電話(022)224-3883, E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp

関東支部（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県および国外）

101-8307 千代田区神田駿河台 1-5 公益社団法人日本化学会 関東支部
 電話(03)3292-6161, E-mail: kanto@chemistry.or.jp

東海支部（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県）

460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階 公益財団法人中部科学技術センター内 学協会事務局
 公益社団法人日本化学会 東海支部
 電話(052)231-3070, E-mail: nikka@cstc.or.jp

近畿支部（富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 6 階 公益社団法人日本化学会 近畿支部
 電話(06)6441-5531, E-mail: csjkinki@kinki.chemistry.or.jp

中国四国支部（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

739-8526 東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科化学プログラム内
 公益社団法人日本化学会 中国四国支部
 電話(082)420-0037, E-mail: nikkasj@ml.hiroshima-u.ac.jp

九州支部（福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県）

819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 W1-A920 公益社団法人日本化学会 九州支部

電話 (092) 802-4130, E-mail: qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp

注：社員としての活動に対しては，謝金や旅費・交通費のお支払いの対象とはなりませんのでご了承下さい。

2027 年度「代議員」立候補届出用紙

年 月 日

日本化学会 _____ 支部長 殿

氏名 _____

私は，2027 年度「代議員」として立候補を届け出ます。

- ・候補者氏名 _____
- ・会員番号 _____
- ・会員種別 _____ ・所属先 _____
- ・連絡先住所 _____
- ・電話番号 _____ ・FAX _____
- ・E-mail _____

日本化学会秋季事業 第 16 回 CSJ 化学フェスタ 2026 各種募集のご案内

化学フェスタ実行委員会

2026 年 10 月 20 日(火)～22 日(木)，東京都江戸川区タワーホール船堀において“日本化学会秋季事業 第 16 回 CSJ 化学フェスタ 2026”を開催します。日本化学会秋季事業として 2011 年にスタートした CSJ 化学フェスタも今年で第 16 回を迎え，「産学官の先端研究者と議論し交流できる場」，「最新の研究や技術開発動向を把握し議論できる場」として好評をいただき，また公開企画の参加者も年々増え，「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」を目的とした日本化学会独自の特長あるイベントとして定着してまいりました。今回も，より魅力的な企画，驚きの企画，参加して良かったと思っただけの企画を準備しています。詳細は本誌 8 月号に掲載しますので，ご期待下さい。

本号では 1) 学生ポスターセッションの発表募集，2) 産学官 R&D 紹介企画の出展募集，3) 広告募集，4) 参加登録についてご案内します。

なお，CSJ 化学フェスタには多くの学生が参加しますが，就職を控えた学生と企業との情報交流に関しては，すべての企画において政府の「就職・採用活動日程に関する考え方」を遵守することを申し添えます。

記

会 期	2026 年 10 月 20 日(火)～22 日(木)	
会 場	東京都江戸川区タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）	
実行委員長	加藤隆史（信州大学/岡山大学/東京大学名誉），山田泰司（花王）	
重要な日程	学生ポスター発表募集期間	6 月 1 日～7 月 2 日
	産学官 R&D 紹介企画募集期間	6 月 1 日～7 月 2 日
	早期参加申込期間	8 月 3 日～9 月 9 日
	通常参加申込期間	10 月 1 日～会期当日
	プログラム公開 (Web)	8 月 3 日
	Web 予稿集公開	9 月 24 日

問合せ先 日本化学会 企画部 矢部・田中・久後・河瀬
E-mail: festa@chemistry.or.jp
URL: <https://festa.csj.jp/2026/>

学生ポスター発表 募集要項

学生と産学官の先端研究者が議論し交流することを目的として、学生ポスターセッションを実施します。審査を希望する発表については、「発表者の研究への寄与」、「質疑応答」、「研究の独自性と発展可能性」などを基準に産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対して「優秀ポスター発表賞」が授与されます。中でも最も優れた発表に贈られる「最優秀ポスター発表賞（CSJ 化学フェスタ賞）」には副賞を贈呈するとともに、「化学と工業」誌（2027年1月号）へ受賞者コメントを掲載します。ポスター会場では同時に産学官 R&D 紹介企画の「R&D 展示ブース」が開催され、企業研究者と交流することもできます。また、今年も『博士課程学生オーラルセッション』を実施します。

1. ポスター発表について

(ア) 発表内容と発表者の条件

討論に重点を置くため、発表内容に発表者本人の既発表内容を含んでも構いません。発表者は学生に限り、発表件数は1人1件です。

(イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分（1回のポスターセッションの時間は120分。ポスター番号により前半60分、後半60分が発表時間となります。）です。ポスターボードのサイズは高さ180cm×幅120cmの予定です。発表言語は日本語もしくは英語とします。

(ウ) 申込分類

1. 物理化学
2. 無機化学・触媒化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 材料化学

(エ) ポスター発表賞

審査を希望するポスター発表に対して審査を行い、「最優秀ポスター発表賞（CSJ 化学フェスタ賞）」、「優秀ポスター発表賞」を授与します。なお、過去に発表者がポスター発表賞を受賞している場合には、既発表内容からの進展や新規性が認められることが受賞の要件となります。

(オ) 採否とプログラム編成

申込発表の採否およびプログラム編成（発表分野、日時など）は、化学フェスタ実行委員会に一任とします（希望と異なる場合もあります）。

(カ) 著作権

予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認められた場合は転載し、また外部からの引用の申請があった際

には本会において検討の上、許可することとします。

(キ) 特許

本会は特許法第30条（発明の新規性喪失の例外）の適用に係る指定学術団体として、これまで特許出願の際の研究集会の発表証明を行って参りました。

平成23年の特許法の改正により、平成24年4月1日以降の出願に関しては、必ずしも指定学術団体の証明は必要でなく、指定の書式に則った出願人による証明書と客観的証拠資料などの提出で済ませることができるようになりました。特許庁のウェブサイトなどにてご確認ください。

本会からの証明をご希望の方は、以下のURLをご参照下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/application/certificate/research.html>

2. 発表申込について

(ア) 申込期間

6月1日～7月2日17時まで

※予定件数に到達次第、受付終了予定時刻より前に受付を終了する場合があります。

(イ) 申込方法

ウェブサイトの申込フォームをご利用いただき、(1)ポスター発表申込と(2)予稿原稿の投稿を行って下さい。(1)と(2)は同時である必要はありませんが、申込期間中に予稿原稿が投稿されていない場合、申込はキャンセルされます。

※フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できませんのでご注意ください。

(ウ) 予稿原稿の作成および提出方法

ウェブサイト上のテンプレートを利用し、予稿原稿をPDFファイルで作成して下さい。発表申込後作成されたマイページよりご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードが必要となります。

(エ) グラフィカルアブストラクトの作成および提出方法

発表内容の要点を示す図式などを、論文誌のグラフィカルアブストラクトの形式でウェブサイトに一覧表示させることで、どのような発表があるか俯瞰できるような場を提供します。ウェブサイト上のテンプレートを利用して作成し、指定期間中にご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードが必要となります。

(オ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかかわらず、申込期間終了後の差し替え、取り消しは認められません。

(カ) 発表者の変更

やむを得ず発表者を変更する場合には必ず事務局へお知らせ下さい。変更の対象はプログラムに記載の共著者に限ります。また、変更になった時点でポスター発表賞の審査対象外となります。

(キ) 過去の受賞について

発表者が過去にポスター発表賞を受賞している、今回も審査を希望する場合は、過去受賞対象となった発表の予稿を提出いただけます。

3. 登壇料のお支払いについて

ポスター発表を行うにはポスター登壇料のお支払いが必要です。

(ア) ポスター登壇料

区分	登壇料 (課税)
学生会員	7,000 円 (税込)
非会員学生	9,000 円 (税込)

※ポスター発表者は別途参加登録手続き、参加費のお支払いの必要はありません。

※予稿集 (Web) およびプログラム集 (PDF 版) の閲覧が可能です。

※プログラム集 (冊子版) を希望の場合は別途申込が必要です (有償: 2,500 円)。

(イ) お支払い方法

銀行振込、オンラインクレジットカードのいずれかとなります。

(ウ) お支払い期限

7 月末日

4. 『博士課程学生オーラルセッション』(今回から英語発表) と 『CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞』について

ポスター発表をする博士後期課程学生で希望される方に、口頭発表 (英語) を通じて産学官という異なる立場、国内外からの異分野の学生・研究者と交流する場を提供することを目的として『博士課程学生オーラルセッション』を設けます。今回から英語発表の場としました。本セッションは英語発表のみになります。日本語では講演できません。

・ポスター発表を行う方に限り、ポスター発表と同じ内容で、口頭発表に申し込むことができます。(口頭発表のみは不可)

万が一、ポスター発表を行わずに口頭発表のみ行った場合は、賞の審査対象外とします。

・英語での講演となるため、発表申込時に日本語タイトルに加えて英語タイトルもつけて下さい。また、ポスター発表要旨に加えて、200 words 以内の英文要旨を提出して下さい。

・発表申込は先着順とし、30 件に達し次第、締め切りとなります。

・同一の研究室からの発表申込は 1 件のみとさせていただきます。

・発表時間は発表 9 分、質疑応答 3 分の計 12 分とします。

・発表者は、少なくとも自身の発表と同じセッションの講演にはすべて出席し、他の発表者とのディスカッ

ションに参加することが求められます。

・優秀な発表に対して「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞」が授与されます。同賞は、「研究内容に関する本人のオリジナリティ」、「発表の構成とわかりやすさ」、「今後の展開への期待度」、「質疑応答的確かさ」を基準に産業界とアカデミアの審査員が審査します。

・CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞は、将来の博士人材をエンカレッジする趣旨で授与するものであり、この趣旨に鑑み、社会人博士の方は、指導教員の方とよく相談の上、お申し込み下さい。

・本セッションでの発表では、より広い分野の方にわかりやすい発表を心がけて下さい。

産学官 R&D 紹介企画 募集要項

産学官 R&D 紹介企画では、「R&D 展示ブース」および「ランチタイムセッション (講演)」への参加を募集します。本企画は回を重ねるごとに来場者も増え、年々注目度が増しています。多くの学生と産学官の研究者が全国から集まるこの機を逃さず、ぜひこれらの企画にご参加下さい。企画の趣旨は以下のとおりです。

① 企業や国研が学生に向けて「事業や研究開発の概要」、「研究成果・技術・製品」、「キャリアパス」等々の情報を紹介し、学生が進路を考える契機となる場を提供する。

② 企業、国研、大学が来場者に「技術や製品の PR」、「研究成果の発表」、「共同研究の提案」等々を行い、様々な連携や交流深耕の契機となる場を提供する。

なお、①における企業と学生の交流に際しては、政府の「就職・採用活動日程に関する考え方」を遵守します。また、②で企業が実施する展示や講演においては、採用活動・営業活動にならないようご留意いただき、説明者・登壇者は人事・営業部門の方ではなく技術・研究開発部門の方として下さい。

1. R&D 展示ブース

趣旨①あるいは②の内容で展示を行います。来場者は、学生ポスターセッションに参加する学生や産学官で研究開発に携わる方々です。展示に際しては、ポスターだけでなく、製品サンプルの展示、デモンストレーションや動画などもご活用いただけます。

(ア) 日時

10 月 20 日～22 日

※10 時～18 時 (適宜休憩可)

(イ) 会場

展示ホール (1 階) を予定

※学生ポスターセッションと同じ会場ですので、3 日間とも多数の学生が立ち寄ります。

(ウ) 開催形態

展示ブース (H 210 cm×W 180 cm×D 60 cm) を設置

※展示時間は 8 時間/日ですが、説明者の常駐は必須ではありません。搬入・搬出は展示時間の前後 1 時間です。

(工) 募集数

先着 32 小間

※3日間通しでの出展とします。「ランチタイムセッション」と併せた参加が効果的です。ぜひご検討下さい。

(オ) 出展料

区分	出展料/1 小間・3 日
企業 (法人会員), 国研, 大学	275,000 円 (税込)
企業 (法人会員以外)	412,500 円 (税込)

※展示ブース 1 小間・1 日あたり説明者 4 名まで、「入場証」(産学官 R&D 紹介企画のみ入場可) を配布します。説明者は人事・営業部門の方ではなく技術・研究開発部門の方として下さい。

※申込後に発行される申込受理通知メールに請求書発行 URL が記載されます。URL から請求書をダウンロードの上、指定口座への振込にて 11 月末までにお支払い下さい。

(カ) 設備

バックパネル 2 枚, 机 1 台, 椅子 1 脚, 社名板, 白布, 画鋸, 電源 (500 W, アース付きコンセント 2 口) を基本設備として用意します。小間あたり PC 1 台程度の利用を想定しています。

(キ) 小間割

申込順や会場の構成などを勘案して、化学フェスタ実行委員会で小間割を決定します。複数小間で出展の場合は小間をつなげて割当てます。

(ク) 申込方法

「第 16 回 CSJ 化学フェスタ 2026」のウェブサイトよりお申し込み下さい。

(ケ) 申込期間

6 月 1 日～7 月 2 日 17 時まで

※予定件数に到達次第、受付終了予定時刻より前に受付を終了する場合があります。

(コ) キャンセルポリシー

申込後のキャンセルにつきましてはご返金ができません。あらかじめご了承ください。

2. ランチタイムセッション (講演)

趣旨①あるいは②の内容で、昼食付の講演を行います。聴衆は学生および産学官で研究開発に携わる方々です。写真や動画を活用し、失敗・挫折・苦労のエピソードを盛り込むなど、「これがうちの面白いところ」、「この技術は世界でうちが一番」といったユニークな話や自慢話などバラエティーに富んだ内容で参加機関の特徴をアピールして下さい。参加機関名を冠した「○○ランチタイムセッション」としてプログラムやウェブサイトに掲載、周知して集客を確保します。

(ア) 日時

10 月 20 日～22 日

※12 時 15 分～13 時 05 分

(イ) 会場

約 60 名の会場を予定

(ウ) 開催形態

時間内の構成は参加機関で自由に設定

※講演の前後に入退場や片付けの時間を確保して下さい。

※昼食手配、入場受付、昼食配布、片付けは事務局で対応します。

(エ) 募集数

12 件 (先着 4 件/1 日) を予定

※「R&D 展示」と併せた参加が効果的です。ぜひご検討下さい。

(オ) 参加料

区分	参加料/1 件
企業 (法人会員), 国研, 大学	330,000 円 (税込)
企業 (法人会員以外)	495,000 円 (税込)

※昼食代金は参加料に含まれます。

※登壇者 2 名までは、CSJ 化学フェスタ参加費が無料です。

※登壇者は人事・営業部門の方ではなく技術・研究開発部門の方として下さい。

※申込後に発行される申込受理通知メールに請求書発行 URL が記載されます。URL から請求書をダウンロードの上、指定口座への振込にて 11 月末までにお支払い下さい。

「R&D 展示」と「ランチタイムセッション」の両方に参加する場合は以下のセット割引料金になります。

区分	セット参加料/1 件
企業 (法人会員), 国研, 大学	550,000 円 (税込)
企業 (法人会員以外)	825,000 円 (税込)

(カ) プログラム

希望日は指定できますが、最終的には化学フェスタ実行委員会にご一任下さい。

(キ) 講演機材

会場にはプロジェクター、スクリーン、レーザーポインタ、マイク、ディスプレイケーブル (HDMI) を用意します。PC は講演者自身で用意して下さい。

(ク) 申込方法

「第 16 回 CSJ 化学フェスタ 2026」のウェブサイトよりお申し込み下さい。

(ケ) 申込期間

6 月 1 日～7 月 2 日 17 時まで

※予定件数に到達次第、受付終了予定時刻より前に受付を終了する場合があります。

(コ) キャンセルポリシー

申込後のキャンセルにつきましてはご返金ができません。あらかじめご了承ください。

広告募集要項

プログラム集 (PDF 版/冊子版) の広告およびホームページバナーの広告を募集します。この機会にぜひ広告をご活用いただきますようお願い申し上げます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

(ア) 掲載料金

①プログラム集：11 万円～22 万円 (税込)

②ホームページバナー：11 万円 (税込)

(イ) 申込・原稿データ締切日

申込締切：8 月 20 日

原稿締切：8月26日

(ウ) 申込・問合せ先

株式会社明報社 後藤

電話 (03) 3546-1337

E-mail: info@meihosha.co.jp

合同会社ケミック・プランニング 分須

電話 (03) 6783-3308

E-mail: k-wakesu@cemic.co.jp

参加登録のご案内

CSJ 化学フェスタで実施する企画へ参加される方には参加費の有料/無料にかかわらず参加登録をお願いいたします。ウェブサイトよりお申し込み下さい。なお、学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいておりますので参加登録の必要はありません。

日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ、事件・事故などによりやむを得ず開催が中止された場合でも、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

1. フェスタ企画へ参加の方

1. 申込期間

早期申込：8月3日～9月9日

通常申込：10月1日～会期当日

2. 申込方法

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。

3. 参加登録費

参加区分	早期申込	通常申込
正会員*1	18,000円(税込)	21,000円(税込)
非会員	30,000円(税込)	33,000円(税込)
学生会員	6,000円(税込)	8,000円(税込)
非会員学生	8,000円(税込)	9,000円(税込)
ポスター審査員*2	14,000円(税込)	14,000円(税込)
プログラム集 (冊子版)*3	2,500円(税込)	購入不可

*1…個人正会員・教育会員・シニア会員および法人正会員企業に所属する方が対象です。

*2…ポスター審査を行い、有料企画へ参加される場合の参加登録費。ポスター審査のみの場合、参加登録は不要です。

*3…早期申込期間のみ購入が可能です。

4. お支払い方法

早期申込	通常申込
オンラインクレジット カード、銀行振込、請求 書払い	オンラインクレジット カードのみ

※早期申込の支払い締切は9月15日です。締切までに入金を確認できなかった場合、自動キャンセルとなりますのでご注意ください。

5. 領収書の発行

入金受理通知メールにてご案内します。

2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。参加方法は、受理通知メールをご確認下さい。

第106春季年会(2026)「学生講演賞」の表彰

第106春季年会実行委員会

本会では、若手研究者が各自の研究をまとめた形で発表する機会を設け、その研究のより一層の進展と活性化を図ることを目的として、第83春季年会(2003)より、従来の「A講演」(講演7分・討論3分)に加え、「B講演」(講演15分・討論5分)を設けております。これらの講演は日本語もしくは英語で実施していますが、B講演のうち英語による優れた研究発表については、博士後期課程の学生を対象に「学生講演賞」を授与し、本会会長名で表彰してきました。「学生講演賞」は、発表内容、プレゼンテーション、英語での質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待される講演に対して贈呈するものです。

今年度の第106春季年会は去る3月17日から20日までの4日間、日本大学理工学部 船橋キャンパスにて現地で開催され、「学生講演賞」は対象の「B講演」268件の中から79件が選考されました。選考は次のように行いました。①当該部門のプログラム部門幹事または編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③講演座長の3名が該当講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに実行委員会(2026年4月17日開催)で選考し、決定しました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、受賞者の所属機関宛に賞状および副賞を送付する予定です。なお、副賞は、2001年ノーベル化学賞受賞者である野依良治博士の自伝で、ドイツ化学会の雑誌『Angewandte Chemie』の編集長を長年にわたり務められたPeter Göllitz博士より、本賞受賞者のためにご寄贈いただいたものです。

「日本化学会第 106 春季年会 (2026) 学生講演賞」受賞者一覧

【物理化学関係】

(理論化学・情報化学・計算化学,

物理化学, 分析化学, コロイド・界面化学)

- A1456-1am-02 量子アニーリングによるサイト混合組成ペロブスカイトの配置最適化 (早大院先進理工) 深澤亮 氏
- A1456-1am-06 反応経路ネットワークと動力学効果に隠される反応経路 (北大院理) 神原龍冬 氏
- A1457-2am-04 水溶液中におけるグアニン四量体の積層構造とその解離温度: デオキシリボヌクレオチドとリボヌクレオチドの比較 (千葉大院融合理工) 清水証子 氏
- A1444-2pm-02 キラルダンベル状分子が示す柔軟性結晶相における分子運動と電気的応答 (東北大院工) 佐藤千慧 氏
- A1455-3am-07 Self-Assembled Optical Chemosensor Array for the Identification of Counterfeited Anti-Malarial Drugs (東大院工) Jeric Flores 氏
- C442-3am-03 アミノホスフィンを用いた InSb/InP コア/シェル量子ドットの合成 (北大院総合化学) Daniel Limouchi 氏
- C443-3am-03 液滴から構造転移により生じたベシクル型人工細胞の peeling 様分裂 (慶大院理工) 佐々木翔生 氏

【無機化学関係】

(無機化学, 錯体化学, 有機金属化学)

- A1433-2am-06 環状ポリオキシメタレート内包微小パラジウムナノクラスターを用いた選択的水素化反応 (東大院新領域) 萩 睿 氏
- A1441-3pm-02 ニトリド架橋モリブデン-遷移金属多核錯体の合成と反応性 (東大院工) 杉山敬太 氏
- A1441-3pm-06 4つの積層したポルフィリン環を有するレドックス活性ケージ化合物の合成と性質 (科学大院理) 北田大樹 氏
- A1442-1vn-03 バリンアミド-ビピリジン骨格およびその誘導体化によるキラルな希土類錯体のトリポルミネセンス誘導起源に関する研究 (青学大院理工) 大野礼雄 氏
- A1442-3pm-01 X-ray Structural Analysis of Flexible Molecules via Conformational Control in a Confined Cavity (東大院工) Yikuan Yu 氏
- A1442-3pm-06 新規イソシアニド配位子を有する鉄(II)錯体の合成と超高速分光法による励起状態ダイナミクスの解明 (九大院理) 本田瑛之 氏
- A1443-3am-03 低エネルギー光水素生成反応を駆動する二核白金光触媒の光触媒活性に対するヨウ化物配位子の影響 (九大院理) 國久保透真 氏
- A1443-3pm-04 *fac*-Re(2, 2'-bipyridine)(CO)₃Cl and Its Derivatives for Visible-Light-Driven CO₂ Reduction and CO₂ Utilization for Carboxylation of Organic Molecules (阪大院工) Phurinat Lorwongkamol 氏
- A1443-3pm-05 多様なポリエステルの還元的アップサイクルを可能にするイリジウム錯体基盤骨格の改変と触媒的応用 (名大院理) 村田知隼 氏

【有機化学関係】

(有機化学, 天然物化学・ケミカルバイオロジー)

- E1111-3pm-04 有機ナトリウム種を用いた C(sp³)-N 結合切断を伴うトリアルキルアミン類のアリール化反応 (北大院工) 近藤恵祐 氏
- E1111-3pm-05 シリルボランを用いた官能基化アリールシリルリチウムの発生 (北大院工) 半妙夏海 氏
- E1112-3pm-03 ロジウム触媒によるアリールホスフィンの炭素-リン結合切断を介したジシリルホスフィン合成 (科学大院理) 森田悠斗 氏
- E1112-3pm-05 イリジウム触媒を用いた 1, 1-二置換アルケンの分子間不斉ヒドロアリール化反応による第四級不斉炭素中心の構築 (阪公大院理) 山川健太郎 氏
- E1112-4am-03 脱芳香族中間体を介した白金/光酸化還元触媒によるキノリンの C4 位選択的アリール化反応 (北大院理) 下里絢平 氏
- E1112-4am-04 パラジウム触媒による分子間ニトロ基移動反応 (早大院先進理工) 久保真之 氏
- E1112-4am-05 Nickel-Catalyzed Cross-Coupling of Allylic Alcohols with Organoboroxines Mediated by Pyrimidine (東大院工) Thakun Chen 氏
- E1121-1pm-05 ジベンゾテルロフェンを活用した高速スピン変換可能な狭帯域有機ホウ素発光体の開発 (九大院工) 楊 沛源 氏
- E1122-1pm-04 TriQuinazoline: 1 原子欠損型平面芳香族分子群の平面性・電子特性精査 (慶大院薬) 櫻井拓也 氏
- E1122-4am-04 ペルフルオロシクロパラフェニレンの包接挙動 (名大院理) 井本大貴 氏
- E1131-1pm-01 オリゴフェニレンケージ内におけるカルバメート連結型共有結合性テンプレートの動的挙動 (科学大院理) 井澤初音 氏
- E1131-1pm-03 二成分のアルキニルピレンからなる [8] ロタキサンの高収率合成法とその高輝度 CPL 特性 (富大院薬) 西冲航平 氏
- E1131-1pm-04 芳香環カプセル内での芳香族カチオンの集合/共集合化 (科学大院物質理工) 遠山和希 氏
- E1131-1pm-06 相補的にカチオンとアニオンを捕捉するピラー [n] アレーンとシアノスターによる機能性集合体の構築 (京大院工) 安澤樹一 氏
- E1131-3pm-03 化学反応生成物を分析するための画像機械学習システム構築 (北大院工) 佐野太一 氏
- E1133-3pm-02 光駆動型基質間酸化還元を活用した異種ラジカル同時生成による Csp³-Csp³ 結合形成反応の開発 (関学大院理工) 西野荘大 氏
- E1133-3pm-03 チエノキノイド構造をもつ多点光異性化色素の開発と光応答性 (阪大院理) 西村里桜 氏
- E1133-3vn-01 近赤外発光を示す水溶性トリチルラジカルの創製と蛍光イメージング及び MRI 応用 (九大院総理工) 安楽滉允 氏

- E1141-2vn-03 Concentration-dependent yield analysis for kinetics: A case study with oligomeric macrocyclization (東大院理) Xinyi Xiao 氏
- E1141-3vn-01 多様なカチオン性窒素含有多環芳香族炭化水素の電解合成と物性 (科学大院物質理工) 大野雄史 氏
- E1142-3am-02 1,2-ジボリル置換を有するドナー-アクセプター共役多翼型ベンゼンの合成と発光特性 (科学大院物質理工) Yunyi Song 氏
- E1143-1vn-01 自己連鎖的アライン生成を経る環状ジアリールヨードニウム塩の開環アリール化反応の開発とオリゴアリーレン類合成への展開 (東北大院薬) 池下大智 氏
- F1231-2pm-07 フルオロホルムを用いた光触媒的ラジカルトリフルオロメチル化反応 (北大院理) Yan SONG 氏
- F1231-3pm-05 フラグメントカップリングを指向した多官能基性アルケンによるアルデヒドの触媒的アリール化反応の開発 (東大院薬) 片山友里 氏
- F1232-2pm-03 励起三重項ピラジカルを介して機能するジチオカーバメートラジカル共有結合触媒: ビニルアジリジンの骨格再構築反応への応用 (名大院工) 川口竜寛 氏
- F1232-2pm-05 A Green and Efficient Approach to Solid-State Cross-Coupling under Self-Stirring Conditions with Real-time Observations (科学大院物質理工) Bosko Vrbica 氏
- F1232-3pm-02 SiO₂-Supported Tetraaryl Borate: A Versatile Non-Covalent Platform for Asymmetric Ir Hydrogenation (東大院理) Océane GRUET 氏
- H931-1vn-02 植物ホルモン ジャスモン酸類の新規酸化的代謝機構の発見 (東北大院理) 松本幸太郎 氏
- H931-4am-05 内在性アクロレインの環化二量化カスケードによるがん細胞内での機能性ポリマー合成 (科学大院物質理工) 川口慎司 氏
- H932-1vn-01 精密合成によってデザインする糖鎖高分子修飾抗体の開発 (工織大院工芸科学) 榎岡善也 氏
- H932-2vn-01 Studies on the Asymmetric Total Synthesis of Tetrapetalone A (科学大院理) LIU JIAXUAN 氏
- H932-4am-02 細胞毒性海洋天然物 Honuiaiameamide A の合成研究 (筑波大院数理物質) 鈴木麻戸香 氏
- H933-1am-01 特異な籠形多環構造を有する天然物, プラジオキアニン A の全合成研究 (科学大院理) LYU SHIAO 氏
- H933-2vn-02 ビステトラヒドロイソキノリン骨格収束的合成法の開発 (東大院理) 菅野朝日 氏
- 【生体関連化学関係】**
(生体機能関連化学・バイオテクノロジー)
- H934-1vn-03 Development of a photoacoustic probe for the detection of HOCl-positive Acute Myeloid Leukemia (Department of Chemistry, University of Virginia) Julia Laura McAfee 氏
- H934-2pm-03 脂質輸送タンパク質の化学遺伝学による膜-膜接触の操作と展開 (名工大院工) 王 笑桐 氏
- H934-4am-03 転写制御に関わる非 B 型 DNA 構造を標的とした分子の開発 (京大院理) 大賀充陽 氏
- H934-4pm-02 Cyclic Fluoro-Crown Ether Phosphate as a Novel Transmembrane Carrier (東大院工) Young Kyoung Hong 氏
- H935-4am-01 非環状型人工核酸 L-aTNA から DNA への遺伝情報伝達 (科学大院生命理工) 数野智成 氏
- H935-4am-04 ホスホロチオエート/スルホンアミド末端 DNA の分子間交差活性化によるケミカルライゲーション法 (名大院理) 横江隼人 氏
- H935-4pm-05 mRNA のキャップ構造とポリ A 鎖の位置に関する構造活性相関解析 (名大院理) 多田瑞紀 氏
- H936-1vn-02 非天然金属ポルフィリノイド補因子の新規合成経路構築とタンパク質への挿入に伴う人工金属酵素創製への展開 (阪大院工) 小西俊輔 氏
- H936-1vn-03 動的な金属中心を導入した新規金属酵素の設計と環化付加反応への応用 (阪公大院農) 松本隆聖 氏
- H936-2pm-02 ジカルボン酸系デコイ分子の開発とシトクロム P450BM3 菌体内ベンゼン水酸化反応への応用 (名大院理) 石上 恵 氏
- H936-4am-05 細胞内微小管の集合構造を制御する 4 量体タンパク質の開発 (鳥大院工) 渡 宗英 氏
- H936-4pm-06 細胞内超分子化学: 浸透圧応答的なタンパク質凝縮体 (東大院工) 清水雅俊 氏
- H936-4pm-07 Inverted GroEL: 設計と応用 (東大院工) 戸田諒太郎 氏
- H937-1vn-04 安定で生物活性を有する含フッ素蛋白質の指向性進化法とその化学合成 (東大院理) Adam Beattie 氏
- H937-2pm-04 気相環境の細菌細胞における代謝ネットワークの再編成 (名大院工) 井上翔理 氏
- H937-4am-05 自動固相合成に基づく多価不飽和脂肪酸ライブラリーの構築 (東大院工) YAOHONG SHI 氏
- H937-4pm-02 生理活性ペプチド/タンパク質の化学合成に適用可能なケージドアルギニンモノマーの開発と応用 (名大院工) 中嶋雄哉 氏
- H937-4pm-05 Penetration of Supramolecular Peptide Nanofibers into Tumor Spheroids (九大院工) Ingram Tan 氏
- 【材料化学関係】**
(高分子, 材料化学)
- D341-2am-01 MOF の骨格編集による均一網目高分子の合成 (東大院工) 大梶悠斗 氏
- D341-3am-06 鎖内カルボニル基を有するポリエチレンの主鎖編集による新規官能基化ポリエチレンの合成および物性調査 (東大院工) 鹿 一璞 氏
- D342-1pm-04 二酸化炭素由来のビスクロラクトン含有ポリマーを利用した新規な非イソシアネート硬化塗膜の開発 (東大院工) 丸本康太 氏
- F1233-3vn-02 機械的強度の高いエアロゲル断熱材の設計に向けたポリイミドエアロゲルの熱伝導率制御 (京大院理) 根来大基 氏

F1234-1pm-05 Self-Healable Conductive Glassy Polymer Extended toward Practical Applications (東大院工) KAIYUAN HE 氏

【エネルギー関係ほか】

(触媒, エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学, 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー)

E1122-2pm-04 シクロアルカンの選択酸化反応を指向した鉄系ペロブスカイト酸化物の高機能化 (科学大院物質理工) 山本昌尚 氏

E1123-4am-04 触媒的脱水素芳香環形成を経る *m*-フェニレンジアミン誘導体の選択的合成 (東大院工) 木村平蔵 氏

E1123-4am-06 銀担持酸化チタンを用いたパーフルオロアルキル化合物の触媒的光分解 (立命館大院生命科学) 豊田悠斗 氏

A1453-1pm-05 高精度気泡発生分光計測による電気化学酸素発生機構の解明 (北大院理) 芦澤大輝 氏

A1453-1pm-08 Sustainable thermoelectric materials fabricated using high entropy perovskite oxynitride nanoparticles as building blocks (北陸先端科学技術大) Simon David Moore 氏

A1454-1pm-03 生体分子センサーによる高分子識別: 蛍光シグナルへの機械学習の適用 (科学大院物質理工) 長谷川史穂 氏

第 106 春季年会「イノベーション共創講演賞」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、1996 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、2008 年度からは「優秀講演賞 (産業)」と改称して講演発表者を顕彰してきました。2012 年度からは、対象をアドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) で実施される ATP ポスター (2020 年度からイノベーション共創プログラム (CIP) ポスター) に限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。2024 年度から「イノベーション共創講演賞」に名称を変更し、第 106 春季年会にて審査・選考を行いました。

この「イノベーション共創講演賞」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3 月 17 日 (火) ~ 20 日 (金) に日本大学理工学部 船橋キャンパスにて開催された第 106 春季年会では、審査希望のあった研究者の講演を対象に産業界の審査員が審査しました (2024 年度より年齢制限を廃止)。CIP 企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった 48 件の中から今年度の受賞者として下記の 3 名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状および副賞をお届けしました。なお、副賞は、2001 年ノーベル化学賞受賞者である野依良治博士の自伝で、ドイツ化学会の雑誌『Angewandte Chemie』の編集長を長年にわたり務められた Peter Göllitz 博士より、本賞受賞者のためにご寄贈いただいたものです。

イノベーション共創講演賞 受賞者一覧

【資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry)】

- ・ 上田 善弘 (国立研究開発法人産業技術総合研究所・主任研究員)
P3-1vn-09 「使用済タイヤの二段階ケミカルリサイクル法の開発」

【新素材・材料】

- ・ 吉田 嘉晃 (九州工業大学大学院工学研究院・准教授)
P3-1vn-22 「自己修復とリサイクルがともに可能な光学樹脂の開発」

【新素材・材料】

- ・ 樋野 優人 (高知工科大学大学院工学研究科・D2)
P3-1vn-35 「弱光駆動と光反応中間状態の可視化へ: アントラセン誘導体結晶における“光-熱”二重応答制御」

北海道支部支部長賞受賞者

北海道支部

北海道支部では支部活性化と化学の奨励を目的に、平成 3 年より北海道内高専生の成績優秀者を対象に「支部賞」、平成 15 年度より支部で活躍する若手研究者の研究活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞」と北海道内の高校生化学系クラブ活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞 (高校生活動の部)」, また平成 18 年度より支部研究発表会にて優秀な発表を行った日本化学会学生会員を対象に「北海道支部優秀講演賞・優秀ポスター賞」の計 4 賞を制定し、毎年顕彰しております。さらに平成 20 年度より「化学グランプリ北海道支部長賞」を制定し、全国化学グランプリにおいて優秀な成績を取めた北海道内の参加者を対象に顕彰しております。

このたびは上記5賞について、2025年度受賞者が以下の方々および団体に決定したことをお知らせします。

■北海道支部奨励賞（支部若手研究者）

小林弘明（北大院理），多田昌平（北大院工）

■北海道支部研究奨励賞（高校生活動の部）（北海道内高校化学系クラブ）

北海道旭川北高等学校理科実験研究部，北海道札幌南高等学校科学部

■北海道支部賞（北海道内高専生）

太田 響（旭川高専），佐々湖遥（苫小牧高専），鹿角謙人

（函館高専）

■北海道支部優秀講演賞（日本化学会学生会員）

杉山萌乃（北大院総化），鷹栖光希（北大院総化），武田泰河（北大院総化），長尾旭飛（北大院総化）

■化学グランプリ北海道支部長賞（北海道内中高校生）

伊藤皓理（北海道札幌南高等学校），大高凰輔（北海道旭川東高等学校），水口樟之助（北嶺高等学校）

（敬称略・順不同）

東北支部支部長賞受賞者

東北支部

東北支部では、支部の活性化と化学奨励を目的として、工業高等専門学校化学系の学生および工業高校、高等学校理数系学科の生徒、日本化学会教育会員の教諭が属する高等学校の普通科の生徒を対象に、各年度卒業時において人物・学業成績が優秀な方に対し、支部長賞を授与しております。

このたび、令和7年度の受賞者として下記の方々を選出し授与いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名（学校名）をご報告いたします。

また、東北支部では、化学教育の裾野拡大と化学者の養成とを企図して日本化学会主催で開催される化学グランプリ事業について、参加した生徒のさらなる研鑽を期待し、東北地区の化学グランプリにおいて優れた成績を収めた下記の生徒10名の栄誉を讃え、東北支部表彰を授与いたしました。

■令和7年度 東北支部支部長賞受賞者

坪 聖也（大湊高），伊東圭悟（能代高），土谷瑛太（由利工業高），能登屋颯汰（秋田工業高），田村大雅（大館鳳鳴高・理数），菊地一志（大館鳳鳴高・普通），佐々木結衣（盛岡工業高），大久保海夢（黒沢尻工業高），佐々木一翔（住田高），相庭志帆（酒田光陵高），横澤俐旺（山形東高），渡部創太（山形工業高），剣持 柳（鶴岡工業高），川田格大（米沢鶴城高），金田結以（米沢興譲館高），布川桃加（寒河江高），遠藤悠馬（宮城県工業高），玉城結愛（古川工業高），佐々木詩季（石巻工業高），齋藤 暖（白石工業高），石川瑛太（仙台二高），伏島 歌（郡山北工業高），大竹絢斗（会津工業高），小池汰嘉（須賀川桐陽高），橋本煌來（福島工業高），岡田怜奈（勿来工業高），緑川慎吾（白河高），宝槻

有紀子（小高産業技術高），遠藤美佑（安積高），舘向虹夏（八戸高専），斉藤裕品（秋田高専），高橋一玄（一関高専），相馬悠人（鶴岡高専），小松一輝（仙台高専），鈴木南帆（福島高専）

〔以上 35 名〕

■令和7年度 化学グランプリ東北支部表彰者

三浦悠人（仙台二華高），吉信智之（仙台二華高），石田結寛（青森高），庄司有汰（仙台二華高），地主 樹（仙台二華高），武田紫苑（山形東高），志田京太郎（仙台三高），茅野智裕（山形東高），谷代宙希（福島高），横澤俐旺（山形東高）

〔以上 10 名〕

（敬称略）

関東支部支部長賞受賞者

関東支部

当支部では、支部活性化と化学奨励を目的として、関東支部長賞および化学グランプリ関東支部長賞・関東支部奨励賞を制定しております。関東支部長賞の授賞対象は、工業高等専門学校において学業を修め、人物および成績が優秀と認められる生徒、化学グランプリ関東支部長賞・支部奨励賞の授賞対象は化学グランプリの成績優秀者です。

このたび2025年度受賞者として下記の方々を選出し、関東支部長賞ならびに化学グランプリ関東支部長賞・支部奨励賞を授与いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、ご報告いたします。

■第28回（2025年度）関東支部長賞

望月美利（茨城高専），REGANAN PATTARISA（茨城高専），鈴木俊大（長岡高専），蛭田てんと（東京高専），SITTHILATVONGSA PATSAYAPHONE（東京高専），黒澤祥希（群馬高専），池野翔貴（小山高専）〔以上5校7名〕

■2025年度化学グランプリ関東支部長賞

荒金幸希（越谷北），加藤紗礼（女子学院），冀 思暢（小石川中等），三上幸也（県立川越），石田健太（県立千葉），山田悠花（越谷北），佐藤慎人（開成），島田成望（県立船橋），和崎智貴（都市大等々力），大泉諒平（浅野），曾我部 齊（横浜翠嵐），柏木遥斗（横浜サイエンスフロンティア），

林 航太郎 (私立武蔵), 平塚仁子 (桜修館中等), 藤木陽世 (渋谷教育学園幕張), 日吉雪乃 (小石川中等), 関 良徳 (横浜サイエンスフロンティア), 船間祥太郎 (県立横須賀), 片岡 優 (大田原), 齋藤拓真 (早稲田), 丹治勇也 (小石川中等), 柏木健太郎 (県立多摩), 小林拓実 (明星学園), 石河和梓 (桜修館中等), 横尾隆乃介 (栄東), 藤山泰地 (聖光学院), 山崎千嘉 (三田国際) [以上 27 名]

■2025 年度化学グランプリ関東支部奨励賞

西村拓哉 (海城), 泉田 隆 (開成), 中尾希美花 (女子学院), 大出昊央 (県立大宮), 松沢克政 (麻布), 松本悠生 (県立多摩), 睦好直弘 (市川), 小林隆ノ介 (県立川越), 大石堯成 (渋谷教育学園幕張), 西田結唯 (豊島岡女子), 吉岡來夢 (県立厚木), 永重諒人 (筑波大学附属駒場), 河野伸弘 (創価), 大塚健太郎 (筑波大学附属駒場), 福岡 駿

(越谷北), 大林伶央奈 (立川), 真野隼佑 (麻布), 内野耕汰 (並木中等), 梶山大翔 (不動岡), 齋藤功瑛 (横浜サイエンスフロンティア), 小池湊斗 (甲陵), 鈴木穂弥 (新宿), 三木廉音 (麻布), 林 莉央 (渋谷教育学園幕張), 天谷奏太 (私立武蔵), 長嶋日向 (日比谷), 福家遼平 (麻布), 齋藤千佳 (女子学院), 鮎瀬 蒼 (県立船橋), 金子拓生 (土浦第一), 湯川龍太郎 (東葛飾), 遠藤美月 (県立新潟), 坂田莉都 (並木中等), 剣持志斗 (浅野), 村上治樹 (東葉), 岩崎仁志 (横浜翠嵐), 小山内 陸 (湘南), 佐藤 匡 (県立高崎), 林 悠風 (流通経済大付属柏), 今村莉彩 (宇都宮東), 松下恵太 (県立高崎), 河野俊平 (大田原), 松葉紳一郎 (県立佐野), 吉沢遥奈 (宇都宮女子), 杉 駿汰 (日本航空), 郡司鉄郎 (大田原) [以上 46 名]

東海支部支部長賞受賞者

東海支部

東海支部では、支部活性化と化学奨励を目的として化学系の大学、大学院および工業高等専門学校の卒業生・修了生を対象に人物および学業成績が優秀なものに対し支部長賞を授与しています。また、平成 19 年度から日本化学会主催の化学グランプリにおいて優れた成績を取めた生徒に対して支部長賞を授与しています。

このたび、2025 年度の受賞者として下記の方々を選出し、支部長賞を授与いたしましたのでここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名 (学校名) をご報告いたします。

■東海支部長賞 (大学・大学院)

山村清遥 (信州大院工), 山根萌夏 (信州大院工), 富田開晴 (信州大院工), 八代裕介 (信州大工), 廣瀬ちひろ (信州大工), 平林大知 (信州大工), 高畑暖菜 (信州大理), 和田茉美 (信州大院理), 長島早紀 (名市大院理), 河野晶葉 (名市大理), 東 佑輔 (愛知工大工), 師川 響 (愛知工大工), 野村伶央 (愛知工大工), 西村美玲 (愛知工大工), 神谷悠斗 (愛知工大工), 中神ロス星 (豊橋技科大工), 一木世梨奈 (豊橋技科大工), 小淵遊真 (豊橋技科大工), 中村颯汰 (豊橋技科大院工), 盛田佳那 (豊橋技科大院工), 亀谷知美 (三重大工), 山北莉子 (三重大工), 加藤翔太 (三重大工), 小林佑成 (三重大院工), 川口真侑 (三重大院工), 山本璃奈 (三重大院工), 山本青依 (静岡大院総合), 今川祐菜 (静岡大院総合), 上村遼介 (静岡大院総合), 松澤真生 (静岡大工), 山崎立樹 (静岡大工), 安藤寿望 (静岡大工), 大崎結衣 (静岡大工), 倉高翔悟 (静岡大工), 木谷凌也 (静岡大理), 砂場開斗 (静岡大理), 山下竜矢 (静岡大理), 池田昌弘 (静岡大院総合科技), 千田隆誠 (静岡大院総合科技), 入澤真帆 (信大繊維), 樽林 毅 (信大繊維), 安田隼翼 (信大繊維), 山本哲士 (信大院繊維), 寺島悠人 (総研大分子科学コース), 後藤龍斗 (中部大工), 清水颯太 (中部大工), 谷口蒼空 (中部大工), 稲垣 遥 (中部大院工), 今川義仁 (岐阜大工), 小松京翔 (岐阜大工), 長谷川毅乃丞 (岐阜大工), 本山寛基 (岐阜大院自然科技), 岩崎わかば (名市大薬), 村林 華 (名市大薬), 伊藤侑真 (名工大院工), 落合世舟 (名工大院工), 佐古杏純 (名工大院工), 大平修也 (名工大院工), 三田村啓史 (名工大院工), 加藤 央 (名工大院工), 中原 陸 (名工大院工), 平崎り

な (名工大工), 南谷俊介 (名工大工), 無関まりの (名工大工), 近藤竜生 (名工大工), 堀 修士 (名工大工), 土田准聖 (名工大工), 吉川修平 (名工大工), 馬淵優真 (名工大工), 濱 陽介 (名工大工), 菊地萌恵 (名工大工), 坂本達哉 (名工大院工), 鈴木 優 (岐阜大工), 山田 空 (岐阜大工), 山本健太 (岐阜大工), 大山わかかな (岐阜大院自然科技), 原山愛未 (岐阜大院自然科技), 和田諭佳 (岐阜大院自然科技), 加藤尚子 (名大理), 上坂光珠 (名大理), 大橋拓真 (名大理), 内藤香蓮 (名大院理), 奥村 翼 (名大院理), 野口陸汰 (名大工), 白井 歩 (名大工), 山宮準史 (名大工), 平田凌雅 (名大院工), 甲原 丈 (名大院工), 石神悠太 (名大院工), 福地咲樹 (名大院工), 中根日向子 (名大院工), 福井洸貴 (名大院工) [以上 92 名]

■東海支部長賞 (工業高専)

野村尚吾 (沼津高専), 松岡未空 (鈴鹿高専), 水谷壮吾 (鈴鹿高専) [以上 3 名]

■化学グランプリ東海支部長賞

稲葉太一 (海陽中等), 勝又昭太郎 (静岡高), 金森洸弥 (明和高), 河野壮真 (名古屋大附属高), 後藤未颯希 (藤枝東高), 酒井那由多 (東海高), 高須悠太 (東海高), 寺西陽菜 (一宮高), 林 真尋 (向陽高), 藤谷拓未 (向陽高), 村木宣斗 (明和高), 村瀬公規 (東海高) [以上 12 名]

■化学グランプリ東海支部奨励賞

石井雅也 (旭丘高), 市川透哉 (岐阜高), 上松稜大 (諏訪清陵高), 内田誠一郎 (向陽高), 大塚 翔 (四日市高), 岡畑健太郎 (松本深志高), 奥 祐斗 (豊橋東), 柄澤悠一 (南山高 (男子)), 島戸麻椰 (南山高 (女子)), 新 啓杜 (四日市高), 田中優之介 (東海高), 田中陽翔 (岡崎高), 玉井拓希

(長野高), 平井隆吉郎(岐阜高), 細野寛成(海陽中等), 松下陽斗(静岡科技高), 間宮一貴(東海高), 三田村亮隆(富士高), 山下陽生(海陽中等), 山田梨紗(南山高(女子))

(以上 20 名)
(敬称略)

近畿支部支部長賞受賞者

近畿支部

近畿支部では、支部の活性化と化学奨励を目的として、工業高等専門学校において学業成績が優秀な方に対し、支部長賞を授与しております。このたび、受賞者として下記の方々を選出し授与いたしました。また平成 28 年度より化学グランプリにおいて優れた成績を収めた生徒に対し支部長賞を授与しております。ここに受賞者の栄誉を讃え、ご報告いたします。

■2026 年度 (第 28 回) 近畿支部支部長賞受賞者

荒田純奈(富山高専), 上中佑伊登(和歌山高専), 音羽矢可(福井高専), 楠本光輝(和歌山高専), 小西壮真(神戸市立高専), 嶋田百華(富山高専), 高井心亜(奈良高専), 谷 紬希(大阪公立大高専), 原田綾音(奈良高専), 藤原佑輔(神戸市立高専), 藤田海斗(大阪公立大高専), 細井遥和(福井高専)

■化学グランプリ 2025 年 近畿支部長賞受賞者

阿品茉倭(洛南), 東 彦宏(灘), 石山蓮士(大阪星光学院), 市川遙一(高志), 乾 晴貴(天王寺), 上迫大翔(天王寺), 大前椋太郎(白陵), 大山健心(神戸大附属), 岡崎大知(東大寺学園), 岡添暁樹(灘), 長 純平(灘中), 亀山凜誠(灘), 吉川 瑠(白陵), 木村 令(西大和学園), 久野 楓(洛北), 黒岩晃太郎(西大和学園中), 古寺優介(灘), 小貫勤孝(天王寺), 齊藤瑛太(嵯峨野), 齊藤悠一郎(灘), 真田菜央(西大和学園), 陣内柊太(四條畷), 鈴木悠生(神戸女学院), 鈴木優雅(天王寺), 瀧内 亮(灘),

田口耕輔(奈良), 田中悠太(灘), 棚元 樹(富山中), 谷 創(膳所), 田淵光希(洛北), 辻 翔成(西大和学園), 坪坂圭史朗(金沢泉丘), テキ潤奇(灘), 寺田佳史(大阪星光学院), 寺西亜央(金沢大附属), 内藤真仁(灘), 中川匠真(嵯峨野), 長田知樹(灘), 中橋拓希(金沢泉丘), 野尻琢人(大阪教育大附属天王寺校舎), 旗智優太(灘), 花房圭吾(白陵), 林 昊佑(白陵中), 藤本翔大(神戸), 淵上理音(雄峰), 符波宗志(金沢泉丘), 部家 司(金沢大附属), 宝田怜弥(市立洛風中), 細川昂大(富山中), 益田康大(加古川東), 増田 淳(白陵), 増田陽友(灘), 松尾葉月(東大寺学園), 松岡史高(六甲学院), 松本碧依(洛南), 武川慈英(金沢大附属), 村上隼都(天王寺), 持田理乃(神戸大附属), 森川浩宇(北野), 矢野誠太郎(大阪星光学院), 山口 怜(灘), 山下堅斗(金沢泉丘), 吉川実樹(六甲学院), 吉田 涼(金沢大附属), 若山智徳(洛南)
(敬称略)

中国四国支部支部長賞受賞者

中国四国支部

中国四国支部では昭和 59 年度より、支部の活性化と化学奨励を目的として、支部内の化学系工業高校および工業高等専門学校を対象に、化学の授業、実験ならびに研究を通して優れた成績をあげた生徒に支部長賞を授与しております。平成 10 年度からは受賞対象者を大学化学関連学科に、また平成 16 年度からは大学院化学関連専攻および化学グランプリの成績優秀者に拡大し、支部長賞を授与することになりました。

令和 7 年度は下記の方々全員に賞状を、また高校・高専の方には副賞として図書カードを贈呈いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名を報告いたします。

■工業高校の部

影山誠悟(米子工), 吉原 匠(岡山工), 中村 司(東岡山工), 森脇 輝(津山工), 大月唯羽(水島工), 三浦慧隼(倉敷工), 三輪侑生(福山工), 井上壮一郎(広島工), 相野桃花(宮島工), 平田咲翔(岩国工), 湯地久留斗(下松工), 有海美羽(徳山商工), 植田陸斗(南陽工), 末次蒼大(宇部工), 生源寺智博(小野田工), 齋藤凌牙(下関工), 中山智太(徳島科学技術), 谷本遊心(高松工芸), 眞鍋大翔(坂出工), 山本 大(松山工), 森賀慧彦(新居浜工), 関野京一(今治工), 森崎 陽(高知工) (以上 23 名)

■工業高等専門学校の部

高橋 悠(米子高専), 八田友維(米子高専), 中桐 伶(津

山高専), 藤井 葵(宇部高専), 丸野くるみ(宇部高専), 上山拓海(阿南高専), Wongsricha Sakdinan(阿南高専), 近藤琉艶(新居浜高専), 新延亜利紗(新居浜高専), 岡本花奏(高知高専), 窪田功晋(高知高専) (以上 11 名)

■大学の部

鷹取袖花(鳥取大工), 多賀野夏菜(鳥取大工), 中井智大(島根大総合理工), 露峯ひまり(島根大生物資源科学), 坂口亮太(岡山大工), 長谷川涼音(岡山大工), 西田雄貴(岡山大農), 明石太陽(岡山大薬), 永田真愛(岡山理科大工), 川原大輝(岡山理科大工), 福永凜咲(広島大工), 木戸祐太(広島大工), 牛場結大(広島大工), 所 亮太(広島大教育), 岩城幸生(近畿大工), 上田拓巳(福山大薬), 山本

愛貴 (山口大理), 山本実明 (山口大工), 岡野稔大 (山口大工), 道津夏妃 (山口大農), 村田莉音 (山口大教育), 島田望矢 (山口東京理科大工), 松村琢磨 (徳島大理工), 小川佳奈美 (徳島大理工), 楠美 凜 (徳島大生物資源産業), 福田 嶺 (香川大教育), 岩崎寛奈 (香川大農), 浦谷真由 (香川大創造工), 池内彩華 (徳島文理大香川薬), 関之尾太希 (愛媛大理), 平野咲良 (愛媛大工), 今井愛貴 (愛媛大農), 上地彩斗 (高知大理工), 小西莉央 (高知大農林海洋科学), 前田典俊 (高知大農林海洋科学), 神野莉穂 (高知工科大環境理工学群) (以上 36 名)

■大学の部 (大学院)

柴田明日香 (鳥取大院持続性社会創生科学), 篠田幸太郎 (鳥取大院持続性社会創生科学), 多田 希 (島根大院自然科学), 井上鼓捺 (島根大院自然科学), 佐藤大愛 (岡山大院環境生命自然科学), 井置 類 (岡山大院ヘルスシステム統合科学), 妹尾起瑠 (岡山大院環境生命自然科学), 多田瑞穂 (岡山大院環境生命自然科学), 眞下 篤 (岡山大院医歯薬学総合), 古長 楓 (岡山理科大院理工), 城間 藍 (岡山理科大院理工), 梶川 空 (広島大院先進理工系科学), 曾根聖人 (広島大院統合生命科学), 富田真由 (広島大院先進理工系科学), 堀田茉依 (広島大院先進理工系科学), 福永駿介 (広島大院人間社会科学), 味谷大樹 (近畿大院シス

テム工学), 松田裕海 (山口大院創成科学), 金田悠介 (山口大院創成科学), 小松 稜 (山口大院創成科学), 高木裕司 (山口大院創成科学), 岡本魁斗 (山口大院創成科学), 齋藤隆生 (山口大院創成科学), 村上華苗 (山口東京理科大院工), 小西健介 (徳島大院創成科学), 今津陽菜 (徳島大院創成科学), 西村優里 (徳島大院創成科学), 高田龍之介 (香川大院創成科学), 宮腰峻平 (徳島文理大院工), 田中優稀 (愛媛大院理工), 池田流星 (愛媛大院理工), 中川一志 (愛媛大院農), 山下琴代 (高知大院総合人間自然科学), 片岡 澁 (高知大院総合人間自然科学), 畑山奈々 (高知工科大院工) (以上 35 名)

■化学グランプリ受賞者

上吹越結也 (広島大附属福山), 堤 康稀 (徳山), 河田陸玖 (米子東), 中森 萌 (広島インターナショナルスクール), 中井英里 (宇和島東), 黒崎智隆 (松江北), 床田雅弥 (観音寺第一), 中津伊彩 (広島大附属), 森永敦澄 (広島大附属福山) (以上 9 名)

■化学グランプリ成績優秀者

藤田真毅 (広島学院), 谷岡 翼 (岡山大安寺), 山本夏実 (高知学芸), 豊野 誉 (城東) (以上 4 名) (敬称略)

九州支部支部長賞受賞者

九州支部

九州支部では、支部活性化と化学奨励を目的として支部長賞、若手研究者奨励賞および Best Oral Presentation Award, Best Poster Presentation Award を授与しております。「九州支部長賞」(工業高校・高専本科・高専専攻科・大学学部・大学院 博士課程前期・修士課程対象)は、卒業生・修了生を対象に、人物および学業成績が優れた生徒に対して授与いたします。また、「化学グランプリ九州支部長賞」は、日本化学会主催の化学グランプリにおいて九州支部内の参加者を対象に優れた成績を収めた生徒に対して授与し、「若手研究者奨励賞」は化学関連支部合同九州大会において、優れた成績を収めた方に対して授与しています。「Best Oral Presentation Award」・「Best Poster Presentation Award」は日本化学会九州支部・韓国化学会釜山支部合同セミナーにおいて、優れた成績を収めた方に対して授与しています。

このたび、受賞者として下記の方々を選出しましたことを、ご報告いたします。

■九州支部長賞 (工業高校)

長嶋快祥 (小倉工), 西崎聡吾 (福岡工), 糸永涼香 (玉名工), 西田悠月 (八女工), 大城考太郎 (沖縄工), 安武 仁 (三池工), 後藤留依 (大分工), 下田美空 (熊本工), 林 香凜 (八代工) (以上 9 名)

■九州支部長賞 (高専本科・専攻科)

井澤照子, 小田夏輝 (久留米高専), 岩熊一樹, 古賀 豊 (北九州高専), 鷲見千尋, 大法祐樹 (有明高専), 江頭功暉, 芝 真朱咲 (佐世保高専), 岡本早葵, 山下和花 (熊本高専), 宮迫凜花, 今西玲音 (都城高専) (以上 12 名)

■九州支部長賞 (大学・学部)

中村銀志 (九大工・分子), 宮川優駿 (熊本大理), 立花遼馬 (九大工・機能), 荒木野乃 (佐賀大理工), 小山拓人 (九大工・融合), 西田人子 (九大理), 太田梨々香 (九工大工) (以上 7 名)

■九州支部長賞 (大学院 博士課程前期・修士課程)

黒岩美鈴 (佐賀大院理工), 谷 綾乃 (九大院工・分子),

三宅貴太 (熊本大院自然), 眞田幸奈 (九工大院工), 松鶴恭弘 (九大院理) (以上 5 名)

■化学グランプリ九州支部長賞 (高校生対象)

久場長真 (昭和薬科大学附属), 日高洸城 (宮崎西), 吉川紗良 (久留米大学附設), 金田匠登 (唐津東), 田村悠花 (久留米大学附設), 増淵 巧 (久留米大学附設) (以上 6 名)

■若手研究者奨励賞 (無機化学)

村上みなみ (熊本大院自然), 角 香奈 (熊本大院自然), 立石駿斗 (九大院工), 岸本悠佑 (九大院理), 戸高広夢 (宮崎大院工), 末田悠太 (九大院理), 森 桜汰 (山口大院創成科学) (以上 7 名)

■若手研究者奨励賞 (物理化学)

梅木智弥 (九大院工), 井手俊栄 (九大院工), 大住柊斗 (九大院工), 千歳洋平 (九大院工), 永末紘己 (九大院工), 山下実紗 (山口大院創成科学), 宮田雅己 (九大院工), 原 理佳子 (九大院生資環) (以上 8 名)

■BCSJ Award for Oral Presentation

Ingram Tan (Kyushu University) [以上 1 名]

■Chemistry Letters Young Researcher Award

Taisei Koga (Kyushu University) [以上 1 名]

■Best Oral Presentation Award

Kiyohiro Toyofuku (Kyushu University), Adistya Maulidya (Pusan National University) [以上 2 名]

■BCSJ Award for Poster Presentation

Dominik Wördehoff (Johannes Gutenberg University Mainz) [以上 1 名]

■Chemistry Letters Young Researcher Award

Junyeong Yang (Dong-A University) [以上 1 名]

■Best Poster Presentation Award

Yeongmi Park (Dong-A University), Yuya Taninokuchi (Kyushu University), Saki Nakano (NIT Kitakyushu College), Laura Haxha (Johannes Gutenberg University Mainz), Jaeseong Heo (Pukyong National University), Masaya Harada (Kumamoto University), Naoaki Fujita (Kyushu University), Daiki Akashi (Kyushu University), Taiyo Moriyama (Kyushu University) [以上 9 名]
(敬称略)

会員委員会からのお知らせ

【日本化学会への入会勧誘のお願い】

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

【会員訃報のお知らせ：2026/2/16-2026/3/15】

6名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

井上 眞一 占部 美子 大野 惇吉 佐藤 一彦* 森田 英夫 山本 統平

*同姓同名の会員がいらっしゃいます。

化学だいきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和8年3月16日～4月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○5,000円まで 藤井 省造

【化学振興】活動醸金者ご芳名

(令和8年3月16日～4月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○5,000円まで 井口 一成

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第 74 巻第 6 号)

ヘッドライン：日本の近代化学史・黎明期番外編

その他に，[実験の広場]，[新・講座] など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

【個人】

1) 日本化学会会員の方で，「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は 5,400 円 (年額) をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合わせフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

- ① [お問い合わせ内容の種類 - Subjects] : 「全般について」を選択
- ② [お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects] : 「【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

③ [追加購読誌 - Journal Subscriptions] : 「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は，教育会員 (年間会費 9,000 円) として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が 4,800 円です。入会申込は，当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」 (<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) から行って下さい。

【団体】

学校，図書館，官公庁等，団体として購読することもできます。公共会員 (年間 9,000 円) に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会総務部会員 G

電話 (03) 3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: member-support@chemistry.or.jp